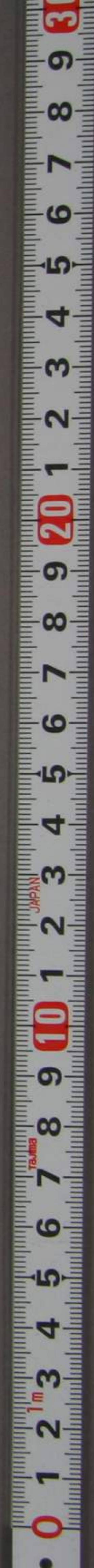


414
A1062

函館廣業商會事業概表説明書

函館廣業商會支店ハ明治九年十月當
地ニ開設セリ廣業商會事業ノ概況及ヒ
當港支那貿易ノ形情ハ函館支廳ト協議
同聽ノ調書ニ略開申之レアルカ故茲ニ開陳セズ
今廣業商會當地ニ開設己未取扱ヒタル事ノ
業ノ概略ヲ別紙表面ニ記載シテ以テ貴覽ニ
供セントス然レモ明治九年ハ十月ヨリ十一月迄僅ニ
三月間ニシテ且創業タルヲ以テ執行フヘキ事業
モ未タ見ルベキモノナシ依テ十年ヨリ以來ノ事業概
略ヲ別紙表面ニ掲載セリ尚毎号ニ就テ其大要ヲ
説明スルノ尤ノ如シ
一 号

大正十一年四月
隈侯爵邸
贈



二号

明治十年北海道人民へ資本貸付金ニシテ豫テ本省ト開拓使ト條約ノ上北海道出產ノ昆布煎海蘘乾鮑鯧ノ四品へ資本金ヲ貸与スルナリ其資金ハ開拓使へ差廻シ同使ニ於テ人民へ貸與シ其資金ニ當ル物品ヲ廣業商會ニ領收シ清國ニ輸送スルナリ明治九年ハ僅ニ三月間ノ營業ナルカ故貸与金ナシ十年ニ至テ初テ貸与セリ其資金貸付高及償還品數量等ヲ掲載シタルナリ

明治十一年前同様ノ貸付金ニシテ十年ニ於テハ貸与金モ初テノ事ニ付人民モ其便宜如何ヲ熟知セサルカ故金高モ多カラザリシカ十一年ニ至テハ漸次其便利ナルヲ知り昆布八十年ヨリ貸与金ノ増シタル一八万三千三百圓餘ニシテ煎海蘘于鮑鯧ノ三品ハ千貳百七拾五圓餘ヲ増加セリ然レモ此ノ三品ハ漁業ヲ為スニ著シキ資本ヲ用フルニ及バズ故テ之カ為雇夫ヲ要スルナク其業尤輕易ニシテ昆布鮑ノ如キニ非ス又收穫物品ヲ販賣スルニ易クシテ收漁ノ季節ニ至レハ函館等ヨリ高買多ク各郡ニ至リテ買取りヲ為ス故ニ漁者ハ收穫スルニ資本ヲ要スルナク而シテ販路ニ苦マズ却テ資本ヲ備用シテ其物品ヲ束縛セラルヲ不便トスルノ景狀アリ故ニ此ノ三品ノ貸与ハ逐次減少スベキナリ

三号

明治十年貸与償還品ヲ受取りタル後ノ餘贏品ヲ買取りタル高ニハ臨機買取りタル數量ヲ掲載シタル

ナリ餘贏品トハ釐金ハ昆布採収者一八ニテ百石ヲ
収獲シテ其内セ拾石ヲ資金償還ノ方ニ納メ其残り
三拾石アルモノナ時ニ依リ秋末ノ際來船ノ寡少等
ニテ此ノ殘品ノミナ他ニ販賣スルニ苦ム_一アルカ故釐金
約束ヲ定メテ償還物品同様ノ價格ヲ以テ之ヲ買取ル
ナリ然レ氏並未廣業商會ノ手ニ屬スル昆布多クシテ
高買競フテ之ヲ買収セントスルカ故餘贏物品ノ販
賣ニ困却セサル勢アリ故ニ此ノ餘贏品買取ヲ約セ
サル各郡多シ又臨機買取ハ昆布ハ餘贏品ノ買上ハ
九_ノ其期限ノ定メアリテ採初_{七月}頃_{九月}ヨリ九月三十日迄ト
スレハ十月ヨリノ物品ハ受取ラサルナリ若此際尚殘有スル
モノアリテ販賣ニ苦シム等ノ事アル時ハ臨機ニ時價ヲ
以テ之ヲ買取ルモノナリ其他煎海嵐子鮑等ノ諸品ハ

昆布ノ如ク豫定價モ之レナク臨時収獲地或ハ函館
ニ於テ購求スルモノナ_クナリ

四号

明治十一年ヨリ本年六月迄ノ分ニテ三号ニ同シ且
十年中開拓使収税品ヲ買取りタル數量ヲモ掲載スルナリ

五号

北海道人民ニ貸与金ノ内昆布ハ其年ノ一月豫メ
價格ヲ定メ其代價ニ應シテ物品ヲ償還スルモノニシテ
明治十年ヨリ本年迄ノ價格ヲ掲載シタルナリ其豫定
價格モ年々幾分カ増加ヲ為スニ至レリ是全ク並未
當港支那貿易ハ清高ノ専有スル_一ヲ得サルカ故遂次
清國貿易品ノ價格ヲ得セシムルニ因ルモノナリ

六号

明治十年ヨリ本年六月迄ノ間ニ高買清國ノ物品ヲ
輸送販賣セシメテ廣業高會ニ委託シタルモノ及ヒ
清國ノ物品ヲ輸送スル者ノ爲換金ヲ廣業高會ヨリ
貸出シタルモノニシテ此ノ二項ノ消長ハ我高買支那貿易ノ
進否ヲ見ルヘキモノニシテ己ニ高買ノ物品ヲ清國ニ輸
送スルノ数量十年ヨリ十年ニ増スル七割六分餘ニシテ
尙爲換金ノ貸出高ハ倍餘ニ至リ此ノ二項ノ漸次増
多ニ至ルヲ以テ支那貿易ノ関進ヲ見ルヘキモノナレハ
此ノ增多ハ將來貿易ノ利益ヲ我人民ニ歸セシムヘキ
端緒ヲ起スモノト云ベシ

七号

明治十年ヨリ本年六月迄各支店ノ間通常爲換金爲
シタル高ナリ當地内國爲換ハ是並當地三井銀行等

ニ於テ取扱未ルカ故廣業高會ニ依頼スルモノ也
八号

明治十年ヨリ本年六月迄廣業高會物品关高買ヨリ
委託ヲ受タル物品ヲ上海香港及ヒ内地へ輸送シタル
数量ヲ掲載シタルモノナリ

明治十二年七月

大藏五等属三好保弘



